安全データシート

新規作成　：2016年 1月 4日
改訂　　：2025年 4月 1日

１．化学品及び会社情報

化学品の名称　：ＳＬＭ－ＡＣＮ

供給者情報　会社名　：三菱製紙株式会社
住所　　：〒130-0026　東京都墨田区両国２丁目１０番１４号
担当部門：技術本部　安全環境品質保証部
問い合わせ窓口：機能商品事業部　（電話番号：03-5600-1488(代表)）

推奨用途　　：シルバーマスター、シルバーディジプレート用現像液
使用上の制限　：推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	：金属腐食性	区分１
健康に対する有害性	：皮膚腐食性／刺激性	区分１
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分１
	皮膚感作性	区分１
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分２（呼吸器）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分２（呼吸器）
環境に対する有害性	：分類基準に該当しない又は分類できない	

ラベル要素

腐食性　　感嘆符　健康有害性

注意喚起語　：　危険

危険有害性情報：金属腐食のおそれ
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
臓器の障害のおそれ（呼吸器）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（呼吸器）

注意書き

不浸透性保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣を着用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
酸と混合させないこと。混合すると亜硫酸ガスが発生して危険です。
他の容器に移し替えないこと。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：　混合物
化学品名又は一般名　　：　現像液
成分及び含有量

	官報公示整理番号	Cas No.	含有量%
水酸化カリウム	(1)-369	1310-58-3	１－　５*
水酸化ナトリウム	(1)-410	1310-73-2	１－　５*
亜硫酸ナトリウム	(1)-502	7757-83-7	５－１０
１－アミノエチルピペラジン	(5)-961	140-31-8	１－　５*
水	対象外	7732-18-5	＞５０

＊含有量について、１５．適用法令も参照ください。

４．応急措置

吸入した場合　：吸入の可能性は少ないが、大量のミストを吸入した場合は直ちに空気の新鮮な場所に移動させ安静にしてください。呼吸が弱かったり、止まっている場合は、衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行ってください。呼吸していて嘔吐がある場合は、頭を横向けにしてください。体を毛布等で覆い、保温して安静に保ってください。応急措置を施したあと、速やかに医師の診察を受けてください。

皮膚に付着した場合：直ちにきれいな流水で洗い流してください。汚染された衣服、靴などは速やかに脱ぎ捨ててください。必要があれば切断してください。但し、皮膚に貼り付いている場合は、無理に剥がしてはならない。皮膚についた場合は一刻も早く洗浄を始め、完全に洗い流してください。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けてください。

眼に入った場合　：接触すると薬傷を起こします。直ちにきれいな流水で１５分以上洗い、眼科医の手当を受けてください。洗浄の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄してください。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続けてください。眼に入った場合、一刻も早く洗浄を始め完全に洗い流してください。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると、不可逆的な眼の障害を生じる（最悪の場合失明する）おそれがあります。

飲み込んだ場合　：水でよく口の中を洗浄し、大量の水を飲ませて、直ちに医師の手当を受けてください。意識があっても無理に吐かせないようにしてください。被災者に意識が無い場合は、口から何も与えないようにしてください。

５．火災時の措置

適切な消火剤　：水、水霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤：特になし

特定の消火方法：不燃性ですが、周辺火災の場合には移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移してください。

保護具等　　：消火の際は自給式呼吸器具及び完全保護具を着用してください。
風上から消火活動を行ってください。
燃焼により成分が分解してCOx、SOx、NOxガスが発生する場合があります。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止してください。保護具（送気マスク、空気呼吸器、保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡、保護面、安全帽、長袖保護服、保護長靴など）を必ず着用して回収してください。風上で作業してください。多量の場合は、人を安全に避難させてください。

環境に対する注意事項：

漏出した液体や洗浄に使用した汚染水が河川等に排出され、環境に影響を及ぼさないよう注意してください。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

砂又は不燃性吸収剤で吸収し、空容器に回収してください。回収した液を廃棄する場合は関係法規に従ってください。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：着衣、皮膚、粘膜に接触したり、眼に入らない様に適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋）を着用し取扱ってください。
取扱い場所への関係者以外の立ち入りを禁止する等の措置を講じてください。
取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、及び身体洗浄を行うための設備を設置してください。休憩場所には、手洗い、洗顔等の設備を設け、取扱い後には手、顔等をよく洗うようにしてください。

局所排気・全体換気：密閉された装置、機器を用いるか、局所排気装置による強制換気を行ってください。

注意事項　：取扱いは十分な換気のもとで行ってください。

保管　　：キャップを確実に閉めて涼しい場所に置いてください。
強アルカリ性のため酸性物質と一緒に保管しないでください。
他の容器に移し替えないでください。
子供の手の届くところには置かないでください。
施錠して保管して下さい。

８．ばく露防止及び保護措置

設備対策：通常の換気扇による換気でよい。

管理濃度　安衛法管理濃度　：　未設定

許容濃度：日本産業衛生学会		水酸化カリウム	最大2mg/m3
		水酸化ナトリウム	最大2mg/m3
	ＡＣＧＩＨ／Ｃ	水酸化カリウム	2mg/m3
		水酸化ナトリウム	2mg/m3

保護具　：呼吸器　保護マスク
手　　保護ゴム手袋
眼　　保護眼鏡
皮膚及び身体　保護衣

９．物理的及び化学的性質

物理状態：液体
色　：無色透明～淡灰褐色
臭い　：若干有り、アミン臭
ｐＨ（at 25℃）：13.0 – 14.0
沸点　：>100℃
融点：<-4℃
可燃性：データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：データなし
引火点：引火性なし
自然発火点：データなし
分解温度：データなし
蒸気圧：水と同様
相対ガス密度：水と同様
動粘性率：データなし
密度及び／又は相対密度：1.05－1.15(at 25℃)
溶解度：水に可溶
オクタノール／水分配係数：データなし
粒子特性：非該当

１０．安定性及び反応性

反応性　：通常の取扱い条件下では安定である。
化学的安定性　：通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性　：強酸と混合すると有害な亜硫酸ガスが発生する懸念がある。
避けるべき条件　：高温、直射日光
混触危険物質　：強酸物質、強酸化性物質
危険有害な分解生成物：燃焼によりCOx、SOx、NOxガスが発生する懸念がある。

１１．有害性情報

急性毒性：実測値は無いが、成分から推定した値では2000mg/kg（ラット経口）以上。
・水酸化カリウム　LD50 273mg／kg（ラット経口）
・水酸化ナトリウム　LD50 325mg／kg（ウサギ経口）
・１－アミノエチルピペラジン　LD50 1470mg/Kg（ラット経口）、LD50 880mg/Kg（ウサギ経皮）
皮膚腐食性／刺激性：区分１、アルカリの強い刺激作用があり皮膚に炎症を起こす。
・水酸化カリウム　区分１
・水酸化ナトリウム　区分１
・１－アミノエチルピペラジン　区分１
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分１、アルカリの強い刺激作用があり眼に炎症を起こす。
・水酸化カリウム　区分１
・水酸化ナトリウム　区分１
・１－アミノエチルピペラジン　区分１
呼吸器感作性又は皮膚感作性：区分１（皮膚）
・１－アミノエチルピペラジン　区分１（皮膚）
生殖細胞変異原性：情報が少なく分類できない
発がん性：情報が少なく分類できない
生殖毒性：情報が少なく分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分２（呼吸器）
・水酸化カリウム　区分１（呼吸器）
・水酸化ナトリウム　区分１（呼吸器）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分２（呼吸器）
・水酸化カリウム　　区分１（呼吸器）
誤えん有害性：情報が少なく分類できない
・水酸化カリウム　　区分１

１２．環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性 短期（急性）：製品データなし
・水酸化ナトリウム　　区分３
甲殻類（ネコゼミジンコ）での48時間LC50 = 40mg/L（SIDS, 2004, 他）
・１－アミノエチルピペラジン　　区分３
甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC50＝32 mg/L（IUCLID, 2000）
水生環境有害性 長期（慢性）：製品データなし
・１－アミノエチルピペラジン　　区分３
急性毒性区分3であり、急速分解性がない（難分解性、BODによる分解度：0%（既存点検, 2004））
残留性・分解性　　：製品データなし
生体蓄積性　　：製品データなし
土壌中の移動性　　：データなし
オゾン層への有害性　　：分類できない
（モントリオール議定書の付属書に記載される物質は使用していない）

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　　：水質汚濁防止法（生活環境項目）及び下水道法（下水の排除の制限）に該当しますので、河川、下水等にそのまま排出することはできません。原液は特別管理産業廃棄物に該当しますので廃液を処分依頼するときは、法により産業廃棄物処理業者としての認可を受けている業者に依頼してください。
汚染容器及び包材：内容物を完全に除去した後に処分してください。

１４．輸送上の注意

船舶輸送は危規則の規定に従ってください。
国連番号：ＵＮ１７６０
国連分類：クラス８（腐食性物質）
容器等級：２

１５．適用法令

安衛法：通知対象物質
水酸化カリウム（含有量 1-5%:営業秘密に該当するため濃度範囲記載）
水酸化ナトリウム（含有量 1-5%:営業秘密に該当するため濃度範囲記載）
１－アミノエチルピペラジン（含有量 1-5%:営業秘密に該当するため濃度範囲記載）
皮膚等障害化学物質等　皮膚刺激性有害物質
水酸化カリウム
水酸化ナトリウム
１－アミノエチルピペラジン
化管法：非該当
毒劇法：非該当

危規則：腐食性物質
消防法：非該当

１６．その他の情報（引用文献等）

独立行政法人　製品評価基盤機構　「化学物質総合情報提供システム（CHRIP）」
「GHS分類対象物質一覧」

本シートの内容は発行時における知見に基づいて作成したものです。作成の目的は製品の安全に関わる情報を提供するものであって、性能・品質を保証するものではありません。記載事項は今後の知見により改訂されることもあります。記載内容の内、含有量・物理的及び化学的性質などの値は保証値ではありません。注意事項は通常の取扱い対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点をご考慮願います。危険・有害性の情報は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。